

業績目録(2001年5月31日現在)
大和田 龍夫

演奏会・展覧会などの名称, 著書, 学術論文などの題名	発表又は発行の年月日	演奏または作品発表の場所, 著書の発行所, 発表雑誌の名称, No, 発行所等	演奏内容(曲目等), 作品内容(作品名等), 研究概要等
LANアプリケーション デモシステム構築	1990年4月	コミュニケーション東京, ビジネスショー大阪, (NTTブース)	LANとPDAを利用した情報共有システムの構築 設計, プログラミング, デモ展示を担当
システムインテグレーション(SI)業務	1990年	社内システムとしての業務のため, 公開せず	社内システムの戦略情報システムの構築の基本検討業務を担当
システムインテグレーション(SI)業務	1992年	ユーザーのシステム構築のコンサルティング(2社)	データの入力支援方法, 共有方法についての調査, 研究業務を担当
ICCデータベースプロトタイプ	1994年3月	社内評価用として公開せず	アーカイブの制作方法についての検証, 各種プロトタイプの企画を担当(CD-ROM, WWW, DBMS他)
ニュースクール「マトリクス」	1993年10～12月 (全12回)	ICCデータベース, テクノカルチャーマトリクス(1994年3月刊行)に収録	20世紀を既存のジャンル分けから離れた形で再検証する連続講座の企画, 運営を担当(参加講師:伊藤俊治, 浅田彰, 武邑光裕, 藤幡正樹, 伊藤穰一, 他)
ニュースクール 「コラボレーションの現在」	1994年7～9月 (全6回)	NTTメディアラボ	メディアアート作品を協調的に実施する事例についての紹介する講演会の企画, 運営を担当 (参加作家:クリスタ&ロラン, IRCAM他)
ニュースクール 「二の橋連画ワークショップ」	1994年9月	NTTメディアラボ	ネットワーク(LAN)を介して, CGを共作する試み, 「連画」のワークショップの企画, 運営を担当 (参加作家:安齋利弘, 中村理恵子)
ネットワークイベント 「四ッ谷連画」	1994年12月 (一ヶ月間)	BBS上	上記をBBSを用いて実施する試みの企画, 運営を担当 (参加作家:中村理恵子, 安齋利洋)
ネットワークコミュニティ形成 「ICCnet」	1995年3月 ～1996年7月	BBS, Internet	上記を拡張してBBS上にメディアアート, メディア論に関心のある人々のコミュニティを構築する実験の企画, 運営を担当(参加作家:八谷和彦, ヲノサトル, 遊佐辰也, 謝琳, 佐々木成明, 平井武人, 安齋利洋, 森)
ICCアーティストデータベース Working Research Version	1995年5月27日	NTT出版刊インターコミュニケーション13号	プロトタイプ制作したアーティストデータベースの著作権保護と公開の実験企画を担当
ISEA-ICC国際連画	1995年9月 (2週間)	ISEA(モントリオールコンベンションセンター, ICCnet)	ICCnetで実施していた連画会をISEAイベント期間中に日本, カナダを結んで実施企画, コーディネーションを担当

業績目録(2001年5月31日現在)
大和田 龍夫

「パソコン倶楽部」ワークショップ	1996年1～3月	四谷丸金番長ビルおよび、ICCnet(BBS)上	BBS上でオリジナルパソコンの制作のアイデアを募集そのアイデアを実際に制作するワークショップの企画と運営を担当 (参加作家、:森脇裕之)
「Moppet連画ワークショップ」	1996年8月	NTT-ICCギャラリーA	身体を絵筆、校庭をキャンパスに見立てて絵を描くシステムを構築、そのシステムで共同絵画制作を行うワークショップの実施企画、運営を担当(参加作家:安斎利洋、森脇裕之、牧野純子、藤井孝一、木原民)
ICC電子図書館の構築	1992年 ～1997年		
ビデオライブラリー	96年～99年	NTT-ICC電子図書館内	ビデオアート作品のコレクションの公開運営を担当
マトリクスデータベース	96年～99年	NTT-ICC電子図書館内および、Internet上にて公開	20世紀の文化、芸術のアーカイブ、様々なインタフェースで検索が可能 企画、運営を担当
アーティストデータベース	96年～99年	NTT-ICC電子図書館内および、Internet上にて公開	メディアアートのアーティストのアーカイブ、様々な形式で検索が可能 企画、設計、運営を担当
ミュージアム活動の記録	95年～99年	NTT-ICC電子図書館内および、Internet上にて公開	ICCの活動のアーカイブ制作 HTML形式で制作 企画、設計、製作、運営を担当
広報機能としてのWeb	97年～99年	Internet上にて公開	ICC活動の広告としての各種情報の発信 企画、制作を担当
ICCNEWS(会報誌、オンライン版)	1997年4月 ～1998年7月 (6回)	発行NTT-ICC、年4回	展覧会、イベント情報に関する活動誌 編集、制作を担当
「agora」研究会	1997年4～9月 (7回)	NTTマルチメディア情報流通推進部(非公開)	ネットワーク上でのコミュニティ構築に関する研究会の開催 企画、講師招聘を担当
電子図書館論 「ライブとアーカイブ」のはざままで	1997年11月27日	NTT出版刊、インターコミュニケーション22号	電子図書館構築に関する論考の発表
カール・ストーン ワークショップ&コンサート	1997年12月	NTT-ICCギャラリーD	メディアアートとしてのコンピュータ音楽の現在を紹介 企画、運営を担当

業績目録(2001年5月31日現在)
大和田 龍夫

RemotePiano installation	1997年12月 (1ヶ月間)	NTT-ICCコピー	坂本龍一, 岩井俊雄, 江渡浩一郎3人による実空間とサイバースペースを融合させたインストール 企画, 運営を担当
「マクルーハンプログラム」 テレビ会議	1998年1~2月 (全3回)	NTT-ICCギャラリーD	カナダトロント大学マクルーハン研究所とICCを結んでのテレビ会議「結合知」をテーマとした公開討論会(ゲスト:古川亨, 田坂広志, 兼子啓明, 武邑光裕他) 企画, 運営, 進行を担当
ニュースクール 「ことばとコミュニケーション」	1998年2月 (全9回)	NTT-ICCギャラリーD	ことばをとりまくコミュニケーションの現在を考える連続講座(講師:戸田ツトム, 古堅真彦, 須永剛司, 歌田明弘他) 企画, 運営, 進行を担当
ニュースクール 「感覚とコミュニケーション」	1998年9月 (全4回)	NTT-ICCギャラリーD	感覚をとりまくコミュニケーションの現在を考える連続講座(講師:伊福部達, 入江経一, 上田伸行他) 企画, 運営, 進行を担当
展覧会 「共生する/進化するロボット」展	1999年1~3月	NTT-ICCギャラリーA	ロボットの現在と未来を展望する展覧会進化, と共生をテーマに則した展示(今日のロボットブームを先取り, 預言した形となった展覧会) 企画, 運営を担当
シンポジウム「ロボットの現在」	1999年1~2月 (全4回)	NTT-ICCギャラリーD	上についての技術的背景を解説するワークショップ 企画, 運営, 進行を担当
ワークショップ「ロボットを作る」	1999年2月 (1週間)	NTT-ICCギャラリーD	発売直後のレゴマインドストームを使用したロボット制作のワークショップ 企画, 運営を担当 (制作講師は, NTT研究所研究員が担当)
デモンストレーション 「早稲田大学ヒューマノイドロボット」	1999年2月 (2回)	NTT-ICCギャラリーC	最先端, 最大規模のプロジェクトである早稲田大学のロボットの初の一般公開デモ 企画, 運営, 進行を担当
ワークショップ 「進化するロボットとの共生」	1999年2月 (1週間)	NTT-ICCギャラリーD	コミュニケーションロボットと人間の1週間に渡る共生実験の開催(参加作家:ヤノベケンジ) 企画, 運営を担当
展覧会カタログ 「共生する/進化するロボット」	1999年1月	NTT出版	展覧会のカタログの企画, 編集を担当 進化, ロボットの機能, ロボットの未来についての論述を試みた. ロボットがSFから現実のものとなるにあたっての人々のパラダイムシフトを訴えた
「電子図書館レクチャー」	1999年3月 (全4回)	NTT-ICC電子図書館	電子図書館をとりまく諸問題の研究会の開催 企画, 運営, 進行を担当 (講師:歌田明弘, 白井雅人, 平尾大輔)
AI学会第二種研究会 ことば工学研究会 「メディアとしてのことばの位置づけ」	1999年3月19日	NTT本社ビル会議室	ミュージアムにおけることばとメディアの扱いについての意見発表

業績目録(2001年5月31日現在)
大和田 龍夫

IAMASワークショップ 「ロボットを作る」	1999年5月 (1週間)	岐阜県立国際情報科 学芸術アカデミー	レゴマインドストームを使用したロボット制作 のワークショップを実施 立体物造形(ロボット製作)により表現を行 うことをテーマとした。 カリキュラム製作、講師を担当
「メディアの足し算, 記号の引き算」	1999年6月 (3週間)	NTT-ICCギャラリー A	一般の表現とメディアアートの相違点を明 確にするための実験的展覧会 企画を担当 (出展作家:岩井俊雄, スコットスニブ, 石 崎豪, 石井裕, センソリウム, カールストー メディアアート, ミュージアムなど, 表現空間 の特徴と表現方法についての考察の特別 講義
神戸大学大学院自然科学研究科 学術講演会講師 「情報の表現空間をデザインする」	2000年5月25日	神戸大学工学部	
OpenHouse2000 (NTTCS研所内公開)	2000年6月7,8日	NTT西日本京阪奈ピ ル	研究所の研究成果の公開 ポスター, ハンドアウトなど印刷物制作を担 当
AI学会第二種研究会 「ことば工学研究会」 「ことばを越えた表現の可能性とそ の方法について」	2000年7月21日	第5回ことば工学研究 会資料p9~13, 於:同 志社大学今出川校舎	絵コンテ制作支援システムを用いた表現の 科学的解明についての発表 シナリオと表現空間の諸問題についての考 察
情報処理学会夏のプログラミング シンポジウム「計算機と表現」 絵コンテ制作支援実験システム (Hierographs) 表現活動のコン ピュータによる支援	2000年8月31日	六甲クラブ	絵コンテ制作支援システムを用いた表現の 科学的解明についての発表 シナリオと意志の伝達の可能性と問題点に ついての考察
情報デザインワークショップ 「ふるまいをデザインする」	2000年9月7~9 日	けいはんなプラザ	Acting Outの手法による未来の振る舞い についてのデザインワークショップ 企画を担当
関西モバイルコンテンツ研究会 第4回研究会「ネットワーク・コミュ ニケーションの現在と今後」	2000年11月22日	新阪急スカイルーム	研究会講師
非常勤講師 デザイン実技「造形実験」	2001年4月2日 ~9月30日	名古屋芸術大学	Mindstormsを用いた立体物造形の実習に ついての実技授業
公開講座講師 「デザインと文化」	2001年4月28日	名古屋芸術大学	公開講座講師 情報デザインと立体造形に関する講演
学術講演会講師 「情報デザインへの招待 -情報に 形を与える試み-」	2000年5月18日	神戸大学工学部知能 情報工学科	情報メディア科学概論講師 情報メディアの技術の基礎と応用に関する 講演